

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要			
事業開始年度 平成17年3月22日～			
総合計画	大項目	基本目標	06 健全で自立したまちづくり
	中項目	基本施策	01 簡素で効率的な行政運営
	小項目	施策	09 その他事務管理(議会)
事務事業名			03 市議会庶務事業
根拠法令・規程等			地方自治法
問合せ先			担当課(室) 議会事務局 職・氏名 庶務調査係長 金井和字 電話 0869-64-1803

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	市議会正副議長・議員、事務局職員
目的(何のために)	市議会の組織活動が円滑にできるようにすることで、市民から信頼される市議会となるため
行政活動(どのような方法で)	議長秘書事務、市議会議長会や各種協議会など市議会としての対外的な事務を支援し、議員報酬の支給・議員共済年金などの福利厚生、会議施設の維持管理、事務局職員の研修などを行う
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	議長は、公務を円滑に達成できる。 議員は、市民代表としての自覚と責任を持ち、安定した活動ができる。 事務局職員は、議員の活動基盤の整備と支援体制を維持していく。

事業の実績				
実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
議長車の運行回数	回	89	94	87
議長の公務出張数	回	92	106	103
本会議・委員会開催数/出席議員数(年間延べ)	回/人	100 / 1,263	98 / 1,153	97 / 1,297
議員報酬・共済・会議出席費用弁償(H18.9月まで)	千円	185,401	158,794	155,218
正副議長秘書事務(直接事業費)	千円	597	678	325
議長交際費(直接事業費)	千円	96	209	111
議長会・各種協議会等負担金(直接事業費)	千円	771	754	840
事務局職員研修(直接事業費)	千円	342	333	182
必要人員	人	2.00人	1.04人	1.01人
必要人員	人	16,640	7,051	8,475
必要人員	人	204,783	168,592	167,608
国・県・市・道・支 出 金	千円			
受 益 者 負 担 金	千円			
繰 上 金	千円			
市 債	千円			
そ の 他 ( )	千円			
一 般 財 源	千円	204,783	168,592	167,608
受 益 者 負 担 比 率	%			

結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
議長車の運行回数	回	89	94	87
対前年比	%	105.6%	92.6%	92.6%
活動コスト	円	1,905,904	1,163,392	848,114
単位当たりコスト	円	21,415	12,377	9,748
議員報酬・共済・会議出席費用弁償	回	100	98	97
対前年比	%	98.0%	99.0%	99.0%
活動コスト	円	187,491,345	159,704,175	156,203,566
単位当たりコスト	円	1,874,913	1,629,634	1,610,346

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
議長公務出張への公用車対応率	目標値(A)	1,000	1,000	1,000	1,000
	実績値(B)	0.967	0.887	0.845	到達目標年度
	達成率(B/A)	96.7%	88.7%	84.5%	毎年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
議長車運行回数	車両を利用する議長の公務出張について公務が円滑かつ安全に遂行できたかを議長車を使用した割合で検証する				
議長公務出張数	議長公務の安全かつ円滑な遂行が行えるようにするため、専用の議長公用車と運転員を確保し運行している。				

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>	
市の関与の 妥当性 必要性	市	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	議員の報酬、費用弁償の支給、議員共済年金事務、議会施設の維持管理、事務局の運営など、妥当なものである。 なお、議長の公務を適正に管理し、円滑な職務の遂行を補助するため議長車と運転員を配備している。
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い <input type="checkbox"/> 説明	
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託等)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	議員報酬等、議員にかかる経費は、会議出席費用弁償の廃止や期末手当の自主減額措置による減と、中途での議員辞職により低減している。 減額理由 職員研修は、予算配分に合わせ減となった。 議長秘書事務では、議長会等の役職から離れたことにより出張等が減ったため半減。
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	運転員(執行部職員兼任)の配置により、議長公務の全てに対応できる議運行体制として完了している。運行率が100%でないのは、議長が個人対応することがあるためで、目的は達成できている。 また、運転員の配置により、運行の安全性が確保でき、議会公用車の管理も万全となっている。
有効性の評価	市民参画度		
	有効性		

事業の目的、対象、内容を考えてから目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

平成21年度の状況						
目標値	結果指標量①	議長公務に専任した議長車の運行	結果指標量②	議員共済・報酬	成果指標量	0.950
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	議長公務への対応について目的は達成できている。職員研修への派遣は、予算枠の関係で内部研修への切り替え等により何とか対応している。議員報酬等は、補選により欠員が補充され通常に戻るため、金額は前年度より大幅増になる。					

総合評価	
議長車の運行が円滑かつ効率的に実施できるようになり、議長の出張など公務が円滑に行われている。その他の事務については、予算の範囲内で現状が維持できるよう、創意工夫を続けること。	評価区分<A~E> 妥当性 有効性 効率性 C

平成22年度以降の方向性・内容						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	議長車運行の民間委託は、情報管理(車内での会話等)に問題があり、現状維持が最良と思われる。					
改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果		
	効率性	議員定数が26人から22人に削減	H22年6月	一般財源の削減 年間約2,650万円が見込める		